

4月5日

町民一人一人に寄り添う行政相談委員 感謝状贈呈および委嘱状交付式

住民の身近な相談を受け付ける行政相談委員の感謝状贈呈および委嘱状交付式が役場で行われました。

式では、釧路行政監視行政相談センターの間和民所長から、退任した山吉久美雄さんへ感謝状が贈られ、後任となる篠村友幸委員へ委嘱状が交付されました。山吉さんは令和元年から約6年間、町民に寄り添う相談窓口として、親切かつ丁寧な対応に尽力されました。



左から篠村委員、山吉さん、間所長

4月4日

子どもに安全・安心を届ける 株式会社八百坂建設ヘルメット寄贈

株式会社八百坂建設（八百坂健次郎代表取締役）が今年度入学した町内各学校の新1年生を対象に、自転車用ヘルメット30個を寄贈しました。

この日は、八百坂代表取締役が役場を訪れ、川島眞澄教育長にヘルメットを手渡しました。八百坂代表取締役は「交通安全に気を付け、大切に使用していただければ幸いです」と話していました。



ヘルメットを手に八百坂代表取締役（左）と川島教育長

3月28日

さまざまな場面で役立てて 女性団体連絡協議会ティッシュ寄贈

町女性団体連絡協議会（池田昭子会長）が、特別養護老人ホーム清和園と町社会福祉協議会に箱ティッシュを各180個を寄贈しました。

この日は、同会員5人が両施設を訪れ、箱ティッシュを職員に手渡しました。清和園の星川学施設長は、「利用者に快適な環境を提供するために、大切に使用させていただきます」と感謝していました。



清和園の職員と箱ティッシュを寄贈した会員

3月24日

生涯学習の実践に努める 白洋大学閉講式

60歳以上の町民が生涯学習に努める「白洋大学」の閉講式が社会福祉センターで行われ、29人が1年の学習過程を修了し修了証書を受け取りました。

同大学では4年の在籍で白鳳学士、さらに2年で白鳳修士、そこから10年で白鳳博士の称号が与えられます。今回は、学士2人、修士1人に称号が与えられ、精勤賞10人、皆勤賞14人に賞状が授与されました。



川島眞澄学長より修了証書を受領した角田美智子さん

4月10日

技術を取得し地球環境保護に貢献したい ジオパワー学園4期生入学式

学校法人ジオパワー学園掘削技術専門学校（井上政史校長）の第4期生入学式が同校で行われ、道内外から集まった新入生13人が入学しました。

新入生代表の和田海歩さんは決意表明で「熱意を持って挑戦し続け、社会に貢献できる技術家を目指します」と力強く抱負を述べ、掘削のスペシャリストへの第一歩を踏み出しました。



決意表明を述べる新入生代表の和田さん

4月5日・6日

春の訪れを告げる森からの贈り物 驚きの森「メープル祭り」

イタヤカエデの樹液から作られるメープルシロップを使った料理などが楽しめる「メープル祭り」が5、6日の両日に上茶路「驚きの森」で開催され、自然の甘味を求める多くの来場者でにぎわいました。

家族と来場した白糠学園4年の横山翔大さんは、メープルパンケーキを頬張りながら「出来立てのメープルは本当においしいです」と笑顔を見せていました。



メープルプリン甘さに笑顔の来場者

4月3日

新入学児童の新生活を応援 商工会青年部・女性部お祝い品寄贈

商工会青年部（山本哲平部長）と同女性部（高橋志保子部長）は、新入学児童への入学祝いとして、ノートと安全傘または防犯ブザーを寄贈しました。

この日は、山本部長と高橋部長が庶路学園を訪れ、大西展史校長にお祝いの品を手渡しました。

大西校長は「毎年のご寄贈ありがとうございます。大切に使用させていただきます」とお礼を述べました。



大西校長にお祝いの品を手渡す高橋部長（中央）と山本部長（右）

3月31日

津波指定避難場所の整備に感謝 東部開発株式会社と協定締結

町は、東部開発株式会社（濱屋宏隆社長）と同社敷地内に開通した津波指定避難場所・避難路の利用に関する協定を取り交わしました。

協定式では、濱屋社長が「一人の命も落とさせないために、今後も避難場所の機能を高めていく」と意気込み、棚野孝夫町長は「課題だった釧白工業団地の避難路整備に協力いただき感謝する」と話していました。



協定書を手に棚野町長（左）と濱屋社長